

Press Release

東京国税局主催
「地理的表示『山梨』ワインシンポジウム」
～GI Yamanashi を聴いて唄く集い～
2018年3月24日（土）13:30～16:30

東京国税局は、酒類の地理的表示制度とGI Yamanashi ワインの魅力をより深く知っていただくため、「地理的表示『山梨』ワインシンポジウム」を2018年3月24日（土）に開催いたします。

近年、日本ワインは世界的に注目を集めています。そのなかで、山梨県は、日本で一番のワイナリー数を誇るワインの産地です。フランスのボルドーやシャンパーニュなどのように、ワインの地理的表示は法的にその生産地名を独占的に名乗ることができる制度で、地理的表示「山梨」（GI Yamanashi）は、我が国唯一の日本ワインの地理的表示です。

当日は、前半に恩田 匠氏（地理的表示「山梨」管理委員会委員長）による基調講演、山梨ワインに造詣が深い専門家によるパネルディスカッションを通して、GI Yamanashi ワインの魅力について掘り下げます。後半のテイastingでは、山梨から22のワイナリーが集まる予定となっております。参加者は生産者からのお話を聴きながら、GI Yamanashi ワインを唄ける、GI Yamanashi の魅力を感じて頂ける会となっております。

【地理的表示『山梨』ワインシンポジウム】

- 日時：2018年3月24日（土）13:30～16:30（受付開始 13:00）
 - 場所：「ベルサール渋谷ファースト」
東京都渋谷区東1-2-20（会場は2階となります）
・渋谷駅 東口/15番出口（徒歩8分） ・表参道駅 B1出口/B3出口（徒歩10分）
 - 一般参加：参加費無料 定員 300名（抽選 / 応募締切 3月10日）
 - お申し込み：<http://gi-yamanashi2018.com> ホームページ内 申し込み先
 - 内容：恩田 匠氏（地理的表示「山梨」管理委員会 委員長）による基調講演
GI Yamanashi ワインの魅力を語るパネルディスカッション
（モデレーター：後藤 奈美氏、パネリスト：松本 信彦氏、鷹野 ひろ子氏、
神戸 勝彦氏、沢樹 舞氏、恩田 匠氏）
GI Yamanashi ワイン テイasting
 - 参加ワイナリー（22社 五十音順）
麻屋葡萄酒、アルプスワイン、勝沼醸造、くらむぼんワイン、グランボレー勝沼ワイナリー、グレイスワイン、サドヤ、サン、フーズ 葦崎工場、サントリー登美の丘ワイナリー、シャトー勝沼、シャトー酒折ワイナリー、シャトー・メルシャン、白百合醸造、蒼龍葡萄酒、フジッコワイナリー、まるき葡萄酒、マルス山梨ワイナリー、丸藤葡萄酒工業、マンズワイン、盛田甲州ワイナリー、大和葡萄酒、ルミエール
 - 主催：東京国税局
 - 協力：独立行政法人酒類総合研究所、山梨県、山梨県ワイン酒造組合
- *その他詳細は、<http://gi-yamanashi2018.com> をご確認ください。